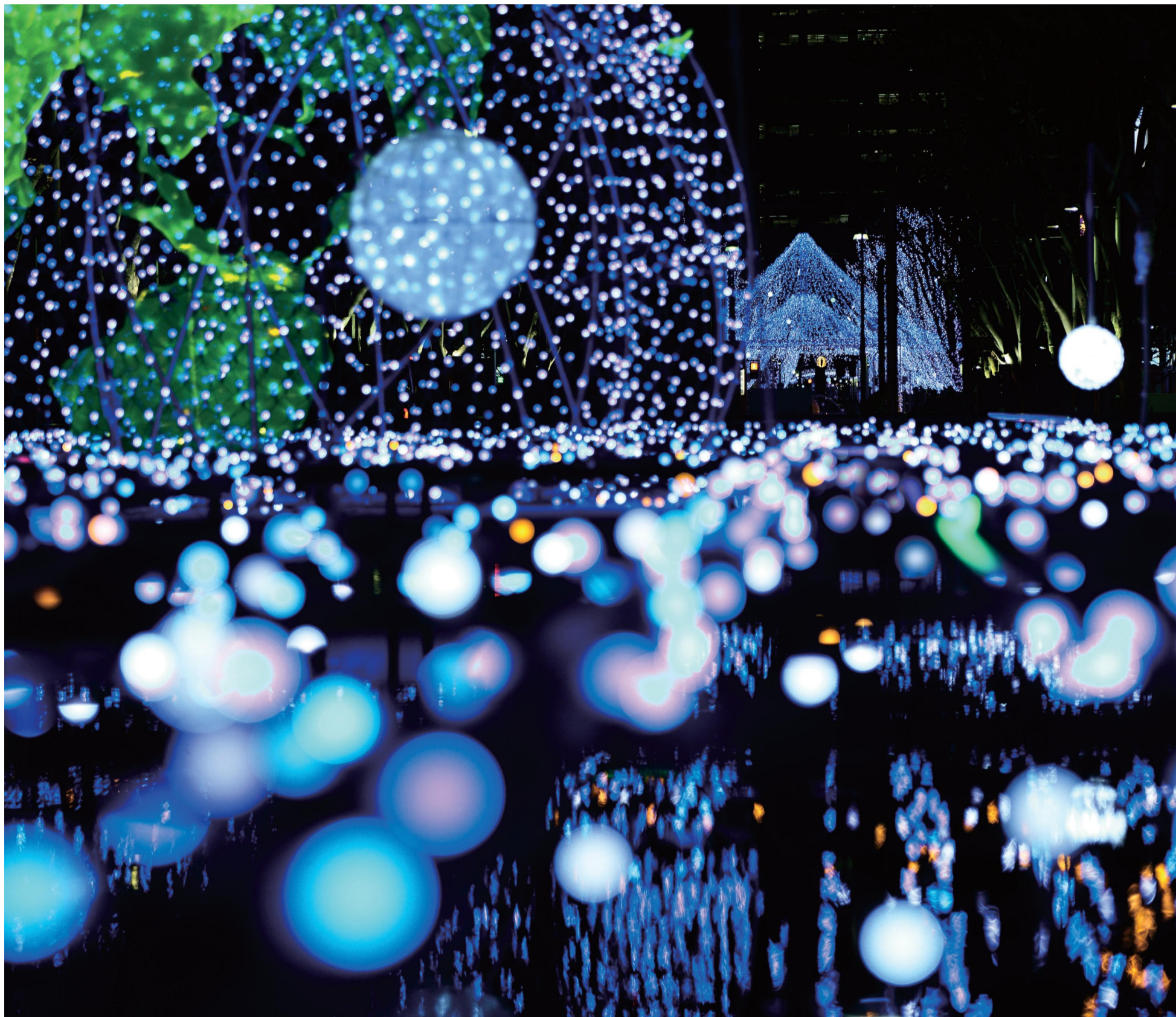




# 市議会だより



## 11月定例会

### ～平成29年度一般会計補正予算案を可決～

平成29年11月22日から12月14日までの23日間にわたって、11月定例会を開催しました。

定例会では、広域連携と地方創生に向けての経費や台風被害に対する復旧事業に要する経費を計上した平成29年度一般会計補正予算をはじめ湾岸消防署改め港北消防署の運用開始に伴う消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正についてなど、16件の議案と2件の請願を審議し、1件の陳情を審査しました。

12月1日、4日、5日には、22名の議員が総括質問を行いました(2～4面掲載)。

12月14日の最終日には12月7日、8日に開催した各常任委員会の審査結果が報告され(5面掲載)、表決の結果、すべての市長提出議案を全会一致または賛成多数で可決しました(6面掲載)。

## 11月定例会日程

11月22日	本会議(開会)	会期決定、議案上程など
12月1日 4日、5日	本会議	市政全般について質問 委員会付託、議案上程
12月7日、8日	常任委員会	議案等審査
12月14日	本会議(閉会)	議案上程 常任委員会委員長報告 討論、表決

## 目次

11月定例会のあらましなど	1面
総括質問	2～4面
高校生との意見交換会など	4面
常任委員長報告、主な議案など	5面
議案の賛否一覧、次回定例会のお知らせなど	6面

### 静岡市のココが聞きたい

## 総括質問



平成29年12月1日、4日、5日の3日間、22名の議員が総括質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

### 財政の中期見通し

**質問** 本市財政の中期見通しはどのような状況にあるか。また、今後予定される大規模事業のための財源をどのように確保するのか。

**答弁** 29年度から32年度までの財政の中期見通しでは、歳入については一般財源総額がほぼ横ばいで推移する一方、歳出については人件費が減少するものの扶助費や投資的経費の増加が見込まれ、各年度の財源不足額は62億円から72億円に達する厳しい見込みである。

財政規律を堅持しながら、海洋文化拠点施設や新清水庁舎などの大規模事業を推進するためには、事業実施の平準化を図ったうえで、国の交付金などを活用する必要がある。

また、第3次行財政改革推進大綱に基づいた歳出の見直しなどの取組のほか、アセットマネジメントの推進や民間資金の積極的な活用を図り、必要な財源を確保していきたい。

### 市職員の人事評価

**質問** 市職員の人事評価結果を処遇にどのように反映しているか。

**答弁** 28年度の地方公務員法の改正により、人事評価を任用・給与・分限その他の人事管理の基礎として活用することが義務付けられた。これを受け、本市ではこれまで管理職について人事評価結果を勤労手当の成績率に反映させる形で活用してきたが、29年度から一般職員についても、職位ごとに概ね3割の業績評価の上位者に対し、加算した成績率を適用している。

さらに、勤労手当以外にも、昇任昇格者の決定や分限処分の適用に係る検討の際には、人事評価結果を考慮している。

今後も、地方公務員法の規定に基づき、人事評価を人事管理の基礎として、さらに有用に活用すべく、必要な検討を継続していく。

### 朝鮮通信使のユネスコ「世界の記憶」登録

**質問** 朝鮮通信使のユネスコ「世界の記憶」登録決定の価値をどのように捉えているか。

**答弁** 通信使が平和の時代を築いたこと、共同申請を通じて日韓交流の広がり契機を作ったこと、日本国内のゆかりの地と関係を構築できたことは、大きな価値と捉えている。

この価値を未来に継承していくことが本市の役割であるとともに、通信使を地域活性化や交流人口拡大につなげていく取組を行うことが大切である。そのためには、次世代を担う中高生が通信使の理念「互いに欺かず、争わず、真実をもって交わる」を継承し、日韓の世代間で当たり前前に交流することで、両国市民が互いを尊重し、理解し合える関係を築いていけるのではないかと考えている。また、通信使を「まちは劇場」プロジェクトの中に位置付け、にぎわいの創出につなげていく。

### 企業主導型保育事業

**質問** 企業主導型保育事業について、市はどのように考え、また、整備促進のためにどのように取り組んでいるか。

**答弁** 企業が従業員の子どもの保育を行うために設置する企業主導型保育事業は、認可外保育施設であるが、設備や職員配置など認可保育所と同等の水準が求められ、一定の保育の質が確保されることや休日や夜間保育の実施により、多様な保育ニーズへの対応が可能であることなどの特徴がある。

企業主導型保育事業の設置は、待機児童の解消や仕事と子育ての両立支援につながることから、施設整備、運営面等に関する助言や情報提供に加え、市税条例の改正により固定資産税と都市計画税を法が認める最大限の3分の1まで軽減し、積極的に整備促進の支援に努めている。

### 新たな資金調達手段の導入

**質問** ICOを自治体で実施することについて、法的な問題はあるのか。また、新たな資金調達的手段として、導入すべきと考えるがどうか。

**答弁** 金融庁に確認したところ、実施するICOの仕組みによっては、資金決済法等の規制対象となる場合があるが、自治体がICOを実施すること自体が禁止されているものではない、との回答があった。

なお、これは金融庁所管の法律に関する回答であり、その他の省庁が所管する法律による規制については、把握できていない。

ICO導入については、そのスキームが自治体においても活用できるかなど、不明な点が多いことから、今後の動向を注視していく。

### 公園遊具の管理

**質問** 公園施設長寿命化計画における遊具の管理方針と更新実績を問う。

**答弁** 当計画は公園施設の老朽化が進む中で、適正な維持管理を計画的に行うために策定した。計画では、遊具や四阿（あずまや）などの施設ごとに健全度の調査・判定を行い、管理方針を定め、ライフサイクルコストの縮減効果があるものは長持ちさせることを目的に計画的な手入れをする予防保全型管理を、それ以外は機能が果たせなくなったときに取り換える事後保全型管理を行うものとしている。

特に遊具は事故防止最優先の予防保全型管理を方針とし、日常点検や定期点検により健全度を把握し、計画的に補修・更新している。この方針に基づき、26～28年度の3年間で287の遊具を補修し、58の遊具を更新した。

#### 語句説明

#### ICO

イニシャル・コイン・オフリングの略で、資金調達をしたい企業や事業プロジェクトが独自の仮想通貨を発行・販売し、資金を調達する手段・プロセスのこと。

### 未就学児童のスポーツと安全教育

**質問** スポーツや安全教育として、キックバイクが有効と考えるがどうか。

**答弁** キックバイクにはペダルがなく、地面を足で蹴って進むため、2歳児でも楽に扱うことができ、脚力がつくなどのメリットがある。幼児期に活発な身体活動を行うことは、成長、発達に必要な体力を高めるとともに、体を動かす楽しさを知る機会となるため、スポーツ振興として有効であると考えている。

また、自転車に乗れない未就学児童が楽しみながらキックバイクに乗る中で、無理なく自転車の技術向上やルール習得を図れるため、安全教育としても有効と考えている。

今後、市立こども園にキックバイクとヘルメットを導入し、遊びながら体力向上を図るとともに、幼児期からの安全教育にも取り組んでいく。

### 小中学校の空調設備

**質問** 浜松市が小中学校への空調設備の設置を発表したが、本市の今後の対応はどのようになっているか。

**答弁** 現在、策定中の学校環境改善基準を踏まえ、望ましい教室環境とするには、エアコン設置を含めた環境改善が必要になると考えている。

本市の普通教室へのエアコン設置率は、現在0.8%で、全国平均の49.6%と比較しても、極めて低い設置率となっている。

普通教室へのエアコン設置は、喫緊の課題と捉えており、エアコン設置を含めた環境改善の具体的な調査について、30年度当初予算への計上に向け調整を進めている。

今後も、児童生徒が快適に過ごせる教室環境の充実に努めていく。

#### 語句説明

#### ユネスコ「世界の記憶」

世界的に重要な記録物への認識を高め、保存やアクセスを促進することを目的にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が登録する。

#### 語句説明

#### 二峠六宿

静岡市内にある旧東海道の2つの峠（薩た峠、宇津ノ谷峠）と6つの宿場町（蒲原、由比、興津、江尻、府中、丸子）をつなぐエリア。

### 東海道二峠六宿の観光交流

**質問** 東海道二峠六宿を活用したまち歩き観光の推進に当たり、市内宿場町で活動する地域団体とどのように連携しているか。

**答弁** 蒲原から丸子、宇津ノ谷峠まで続く東海道二峠六宿の街道観光の推進は、行政だけでなく経済界や各宿場町で積極的にまちづくりや観光推進に取り組む地域団体等と連携して進めることで、より大きな効果をもたらすと考える。

そのため、各団体と情報共有を密に図り、協働するとともに、例えば28年度の「東海道シンポジウム丸子宿大会」や29年蒲原地区開催の「東海道57次交流会」など、宿場であることを活用した地域間のつながりを深める地域団体の主体的な取組には、講師の派遣や会場の貸出しなど積極的に支援している。

### 都市計画道路 下大谷線

**質問** 大谷地区と東静岡地区や新東名高速道路を結ぶ下大谷線の現在の整備状況と今後の進め方はどうか。

**答弁** 下大谷線は、新東名高速道路、東名高速道路、国道150号を結ぶ広域交流ネットワークを担う都市計画道路であり、本市の南北軸を構成する重要な道路である。

現在は、(仮称)静岡東スマートインターチェンジのアクセス道路として平成30年中の供用を目指し大谷郵便局から広野大谷線までの区間の4車線化工事を実施している。

次期工区となる現在の事業区間から(通称)SBS通りまでの未整備区間では、着手に向け幅員を現行基準の25mに変更する都市計画変更手続を進めている。

(仮称)静岡東スマートIC活用のため全線の早期供用開始を目指し事業推進していく。

### 国道1号の代替道路計画

**質問** 災害等により国道1号が通行止めになった場合に備え、代替道路計画の立案が必要と考えるが、市の考えはどうか。

**答弁** 平成29年10月の台風21号では、由比・蒲原地区の国道1号と東名高速道路が通行止めとなったが、新東名高速道路が利用できたことで東西交通が完全に寸断されるには至らなかった。しかし、通行止め期間中、由比・蒲原地区の生活道路に渋滞が発生し、周辺住民の生活にも大きな不便が生じた。

国道1号が災害等で通行止めとなった場合、社会的・経済的損失のみならず地域住民の生活に大きな影響を及ぼすことから、北側への代替道路建設の検討も含め、国道1号の防災機能の強化について国に働きかけていくとともに、通行規制情報等の速やかな配信にも努めていく。

### 地域公共交通(バス路線)の確保

**質問** 路線バスなどの公共交通は、誰もが安心・安全に利用できる移動手段であり、市民の日常生活に欠かせない重要なものだが、現在休止となっている路線について、どのような対応をしているのか。また、まちづくりに重要な役割を担っているバス路線確保に向け、どのような対応をしているのか。

**答弁** 現在休止中の路線について、バス事業者とは代替路線の有無や利用状況などを踏まえ、公共交通空白地が生じないように、路線の維持や利用促進などバス交通全般にわたり協議しており、その中で沿線住民の意向を伝えている。

また、バス路線確保に向け、不採算路線への補助金交付やバス事業者が撤退して代替となる交通手段のない地区は、自主運行を行うなど移動手段の確保に取り組んでいる。

### 災害時の仮設トイレ

**質問** 避難所の仮設トイレの課題及び今後のトイレの備蓄について、どのように考えているのか。

**答弁** これまで本市が主に備蓄してきた仮設トイレは、多数の人の利用により排泄物がすぐに溜り、早期に汲み取りをしないと衛生状況が悪くなることや、屋外に設置されていることで、特に女性や子どもの夜間使用に不安があることなど、衛生面や防犯面等に課題がある。

また、備蓄品の多くが和式仮設トイレであり、高齢者や障がい者等にとって使用しにくいことも課題である。

今後は、汲み取りの手間がかからず体育館などの避難所内の和式トイレに設置できる洋式の簡易トイレを備蓄し、屋外の仮設トイレと併用して使用できるようにしていきたい。



災害用簡易トイレ

### 災害時における井戸の利用

**質問** 本市の応急給水対策はどのようになっているか。また、地下水に恵まれる本市には、井戸を所有する者も多いが、災害時に自主防災組織が私有の井戸を活用しやすくする非常時用井戸認定制度導入についてどのように考えているか。

**答弁** 災害時においては、市内の小中学校などに設置した耐震性貯水槽や給水栓付受水槽による給水に加え、給水車などを活用し応急給水を実施する。

井戸水については、地震による濁りなども発生することから、主に生活用水として、トイレの洗浄や入浴、洗濯などに活用できると考えている。なお、非常時用井戸認定制度を導入するまでもなく、必要な地域においては自主防災組織が井戸の所有者の了解を得て災害時の利用を計画している。

### オクシズ賑わい創造センター

**質問** オクシズでは人口減少・少子高齢化が急激に進行している。この厳しい実態に対し、産業活性化や生活支援など多面的機能を集約し、様々な地域課題を解決していく拠点として「オクシズ賑わい創造センター」を整備すべきと考えるがどうか。

**答弁** 提案内容は、住民の生活維持に必要な機能を集約することで、地域の暮らしを支えるという、国の提唱する「小さな拠点づくり」に通じるものである。

この新しい地域運営の仕組みを現在策定中の次期静岡市オクシズ地域おこし計画に位置付けたいと考えている。

計画の策定に当たっては、住民や地域の事業者にも議論に加わってもらい、生涯学習交流館の活用を含めた機能集約のあり方に関係各局と調整しながら検討していく。

### 清水庁舎移転とタウンミーティング

**質問** 市は清水庁舎の移転に関し、平成29年9月に無作為抽出した清水区民2,000人にアンケートを、10月には関係団体とのヒアリングとワークショップを実施し、今後はパブリックコメントを実施する予定とのことだが、それだけではなく、他都市の事例のように、タウンミーティングを開催し、丁寧に市民意見を伺うべきだと考えるがどうか。

**答弁** 市民アンケートやワークショップの実施などに加え、今後、パブリックコメントを行い、幅広く市民の皆さんの意見を伺っていくため、改めてタウンミーティングを実施する必要はないと考えている。

#### 語句説明

#### 非常時用井戸認定制度

あらかじめ、自治体が井戸所有者から協力者を募り、災害時に近隣住民が利用できる井戸として認定・周知することにより、災害時に地域の井戸を活用しやすくする制度。

#### 語句説明

#### 静岡市オクシズ地域おこし計画

中山間地域が抱える政策課題に対応する中山間地域の振興を図るための計画。  
次期計画期間は平成31年度から34年度。

#### 語句説明

#### 再犯防止推進法

「再犯の防止等の推進に関する法律」の略。

### 再犯防止推進計画

**質問** 平成28年成立の再犯防止推進法に基づき、近く国の再犯防止推進計画が策定予定とされている。本市としても積極的に再犯防止推進計画を策定すべきと考えるがどうか。

**答弁** 現在、国では、刑務所や少年鑑別所などの矯正施設が所在する自治体の首長間のネットワーク設立の準備をしていると聞いている。このネットワークでは自治体が率先して地域ぐるみの再犯防止施策を推進するとともに、矯正施設が持つ非行問題等の専門的知見の活用や地域住民への広報啓発活動等を行っていくものとのことであり、本市も参画する予定である。

今後は、このネットワークからの情報や、国、県の動向も踏まえ、犯罪をした者の実態や支援ニーズの把握に努め、再犯防止推進計画策定の必要性について検討していく。

### 清水LNG火力発電所

**質問** 事業者が、清水LNG火力発電所建設事業の手續延期と行政や市民の理解を得られるよう事業を見直すことを発表してから2か月以上経過したが、この発表以降、事業者から行政に対して何らかのアプローチはあったのか。

**答弁** 平成29年9月15日に事業者が環境影響評価手続きの延期を行うと表明して以降、事業者から市へは事務レベルで相談があった。その際には、事業者は計画を断念したわけではなく、市のまちづくりとの整合性の観点で検討を続けているとのことであった。

そのため、市からは、清水まちなかタウンミーティングで示した清水都心のまちづくりの考え方や、今後見込まれる国際クルーズ拠点や海洋文化拠点施設等の事業について、情報提供を行ったところである。

### 国民健康保険の都道府県単位化

**質問** 30年度から国民健康保険が県単位となるが、突発的な理由により保険給付費が不足した場合の責任主体はどうか。また、本市の国民健康保険事業基金の保有額は政令指定都市の中で一番多いが、保有の必要性と今後の活用方針をどのように考えているか。

**答弁** 国民健康保険の都道府県単位化により、県が財政運営の責任主体となり、給付に必要な費用は全額、県が市町に交付することとなる。それに伴い、従来、市で行ってきた突発的な理由により保険給付費が不足した場合への対応は、県が設置・運営する財政安定化基金により一時的に行うこととなり、翌年度の県への納付金額に上乗せする形となる。また、保有している基金は、制度改正に伴う激変緩和や年度当初の安定的なキャッシュフローの確保等に活用していく予定である。

### 地域包括ケアシステム

**質問** 在宅介護、在宅医療を進めるうえでの課題をどのように捉えているか。

**答弁** 主な課題として①一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯にどのように対応していくか、②在宅におけるたん吸引などの医療行為等による家族の負担感をどのように解消していくか、③24時間対応できる診療所や万が一の際の病院の受け入れなどバックアップ体制の充実、④安心して在宅生活を送るためのバリアフリー化など住環境の整備、以上4点が挙げられる。

これらの課題解決に向け、利用できる介護サービスの提供や在宅医療に係る専門職の連携などの在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいる。



医療・介護の専門職による検討会  
（「自宅ですつと」ミーティング）

### 手話言語条例

**質問** 全国で手話言語条例を制定する動きが進んでいるが、条例制定に向けた本市の進捗状況はどうか。また、28年度に発足した全国手話言語市区長会への加入についてどのように考えているか。

**答弁** 平成28年2月から市内関係団体と条例制定に関する検討を始め、これまでに4回の打ち合わせや文書による意見交換を行ったほか、既に条例を制定している他都市に対し、制定までの経緯や内容に関する調査を実施した。また現在、静岡県で議員発議による条例制定の本格的な検討が始まったと聞いており、今後その内容等も確認しながら、市の対応についてさらに検討を進めていく。

全国手話言語市区長会については、各都市の取組に関する情報収集の機会と捉え、加入について考えているところである。

### 語句説明

#### 手話言語

手話は、ろう者の考えや気持ちなどを手や指、表情で表現する「言語」「ことば」とされている。平成18年国連総会採択の障害者権利条約では「言語」と定義、平成23年障害者基本法改正では「言語に含む」とされるなど、日本語などと並ぶ「言語」との認識が広がっている。

#### 全国手話言語市区長会

国に「手話言語法」「情報・コミュニケーション法」の制定を求めると、全国の自治体の関連条例制定を推進すること、各自治体における手話等に関する施策展開の情報交換を行うこと等を目的とする会。

### 電子母子健康手帳

**質問** パソコンやスマートフォンで利用できる電子母子健康手帳の導入についてどのように考えているか。

**答弁** 現行の母子健康手帳は、妊婦や胎児の状態を医療機関が記入したり、市が出生届出済証明を記入したりするなど、紙媒体でなければできないことがある。

一方、電子母子健康手帳では、記録がサーバーに保管されるため紛失の心配が少ないこと、健診記録の自動グラフ化や行政からの情報配信の機能があることなどの利点がある。

電子母子健康手帳の導入には、現行の紙の手帳の利点や子どもの成長を記録する民間のアプリ等既存のサービスがあることや、個人情報保護の観点から検証が必要であり、今後は他市の状況も注視し、研究していく。

## 市議会議員と話そう

### ～議員と高校生との初の意見交換会を開催しました～

静岡市議会では、「開かれた議会」の実現に向けて、市民と議員との距離を縮めるための事業の一環として、平成29年11月17日に市議会議員と高校生との意見交換会「市議会議員と話そうin市高」を、平成29年12月20日に「市議会議員と話そうin清水桜が丘」を、静岡市議会として初めて実施しました。



議会側から、議長、副議長及び各常任委員会の委員長の計8名、高校側からは、各校ともに20名ほどの生徒が参加しました。

意見交換会では、議長の挨拶の後、少人数に分かれてのグループディスカッションを行いました。



静岡市立高等学校:グループディスカッションの様子

静岡市立高等学校では、高校生への事前アンケートをもとに、「津波対策、地震対策」「人口減少」「奨学金」「消防団」「地域活性化」「自転車、道路」という、各常任委員会委員長の専門性に応じたテーマを設定。

20分ごとに、議員が各グループを回り、それぞれのテーマで白熱した意見交換を行いました。

また、静岡市立清水桜が丘高等学校では、テーマを設定せず、何でもありの自由なディスカッションを実施。市高と同様に議員が各グループを回り、高校生の意見を聴くことを主体として、生徒全員と意見交換することを心掛けました。



静岡市立清水桜が丘高等学校:グループディスカッションの様子

両校とも、行政全般にわたる様々な話題に意見が尽きず、時間が過ぎてもまだまだ話し足りない様子でした。

高校生からは、「同じグループの中でいろいろな視点からの意見が出てとてもおもしろかった」「もっとこのようなディスカッションを増やしていけば市議会議員について知ることができて、関心を持てば投票率も上がると感じた」「このように市民と議員が肩の力を抜いて話す機会はないと思うので、今回のようなグループディスカッションを大人対象でやってもいいなと思った」などのご意見をいただきました。

今後も、高校生に限らず、市民と議員との距離を縮める様々な取組を実施していきます。

## 陳情審査結果

1件の陳情が審査され、審査結果は次のとおりでした。

件名	結果
静岡市民文化会館の再整備に伴い文化芸術会館建設を求める陳情	不採択

## お知らせ

清水都心まちづくり特別委員長の栗田知明議員の委員長辞任に伴い、望月厚司議員が新たに同特別委員長に指名されました。

# 常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

## 総務委員会

- \*津波避難タワーは津波浸水想定区域の住民が切望している施設であるため、様々な事情もあると思うが、早期に完成させること。
- \*「市職員の育児休業等に関する条例」の一部改正は、国の制度に準じた条例の改正だけでなく、市の抱える諸問題に関する検討も行うこと。
- \*少子高齢化対策など、公益性の高い事業に活用されている宝くじの収益金は市の貴重な財源であるため、関係機関と協力し、市民の宝くじ事業への理解促進や売上金の向上に努めること。

## 市民環境教育委員会

- \*学校施設の改修工事の進捗が学校行事や部活動等に影響を及ぼさないようにすること。
- \*学校施設の改修工事の実施に当たっては、児童・生徒の安全に十分配慮すること。

## 企業消防委員会

- \*千代田消防署大規模改修工事については、市民の安心・安全の確保のためにも着実に実行し、防災拠点としての機能維持や強化を図ること。  
また、工事期間中は地域の方々には不便を感じさせないよう配慮すること。  
さらに、消防署の設備においては、仮眠室の個室化や女性職員専用の設備スペースの集約化を図るなどの取組が行われており、消防力の強化という視点から、今後も設備と執務環境面を充実させていくこと。
- \*湾岸消防署の移転に際し、万全の体制で臨むこと。

## 厚生委員会

- \*私立子ども園等整備事業費助成について、園舎の整備が遅れた理由や、それに対する市の対応について、しっかりと検証していくこと。
- \*わらしな学園(※1)及びわらしなロッジ(※2)の民営化に当たっては、利用者や保護者の方々には不安を与えないためにも、新たなニーズに応えることも含めて、サービスの維持・向上につながるよう、引き続き、市が監督・指導等の関与をしていくこと。  
(※1)知的障害者福祉施設 (※2)重度障害者生活訓練ホーム

## 観光文化経済委員会

- \*三保モデル創造事業について、(仮称)松原フォーラムの開催を人材育成につなげ、総合情報サイトを一般市民に広く情報発信できるようなものにするのと同時に、この事業を一過性のものにせず、松原保全の発信地となるよう取り組むこと。
- \*長田体育館空調設備整備事業については、利用している市民の皆さんへの影響が極力少なくなるよう配慮すること。
- \*アンテナショップ開設事業は中部5市2町の地場製品の紹介や売上げの拡大、首都圏での認知度アップ等が期待されるため、早期にオープンできるよう取り組むこと。  
また、5市2町の食の豊かさをアピールし、他の自治体のアンテナショップとの差別化を図ることができる内容を検討すること。
- \*清水港客船誘致について、市民が港に親しみを持つことは国際海洋文化都市の実現に向け非常に重要であり、客船の寄港はそのきっかけとなるので、今後も多くの市民に港を訪れてもらうことを意識した情報発信を行うこと。また、大道芸ワールドカップや港まつり等のイベントに合わせて寄港日を設定してもらうよう船会社に働きかけるなど、市内に誘客するための仕掛けづくりを他局などと連携し企画していくこと。さらに、中高生や消防隊員の演奏者の負担を軽減するという観点から、市民ボランティアからなる客船歓迎事業専用の音楽隊結成を検討すること。
- \*観光施設災害復旧事業については、早期の回復に努めるとともに、海岸及び港湾管理者である静岡県と調整しながら災害対策を検討し、市民が安心して利用できる施設管理を行うこと。

## 都市建設委員会

- \*自転車等駐車場条例の一部改正について、学生料金の設定などにより、利用しやすくなることを評価する。また、まちなかでの買い物の際に短時間だけ止められる駐輪場の整備や防犯対策等の充実を求める。
- \*台風21号、22号により被災した道路の復旧については、中山間地域では迂回路が少なく通勤・通学をはじめとする生活道路であるため、一刻も早い復旧に努力してほしい。また、道路の復旧、保全に迅速に対応し、道路の安全確保のための日頃の点検やパトロールによる結果をもとに予算を確保し、道路の安全確保に努めること。

# 主な議案

11月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

## 平成29年度補正予算

- 平成29年度静岡市一般会計補正予算(第4号)  
広域連携として、県中部5市2町の一体的な発展を目指すためのアンテナショップの開設準備に要する経費や、地方創生として、松の保全に係る情報共有やネットワーク構築などに要する経費などの増額を計上しました。
- 平成29年度静岡市一般会計補正予算(第5号)  
台風21号及び台風22号により被害を受けた道路、漁港、観光施設の災害復旧に係る経費を計上しました。  
この結果、補正予算の総額は4億9千万円の増額となり、補正額を加えた累計予算額は3,156億2千万円となります。

## 草薙駅前西自転車等駐車場の学生料金の設定

- 静岡市自転車等駐車場条例の一部改正について  
草薙駅前西自転車等駐車場において、駐車料金に学生料金を設定等するため、所要の改正をするものです。

## 港北消防署の運用開始

- 静岡市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について  
新消防庁舎の運用開始に伴い、施設の名称及び位置を変更するため、所要の改正をするものです。

# 議員研修会

市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。

平成29年12月12日、国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC:ジャムステック)理事の篠崎資志(しのざきもとし)氏を迎え、今後の国際海洋文化都市の実現に向けた取組の参考とするため、「ちきゅうの研究調査活動と清水港への期待」と題した研修会を開催しました。

篠崎氏の所属するJAMSTECは、海洋産業の創出等に関して静岡市とも連携しており、講演では、地球深部探査船「ちきゅう」をはじめとするJAMSTECの活動や、今後の新しい海洋産業の創出、JAMSTECと静岡市との関わりについてお話をいただきました。



講師:篠崎 資志 氏



# 11月定例会提出議案の会派別賛否一覽

11月定例会で審議した市長提出議案15件、議員提出議案1件、請願2件の審議結果は、次のとおりです。

(○=賛成、×=反対)

件名	会派名						議決結果	
	自民党	志政会	公明党	共産党	山と町	緑の党		
29年度補正予算	一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	可決	
	一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	可決	
条例の一部改正	静岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	可決	
	静岡市知的障害者福祉施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	可決	
	静岡市重度障害者生活訓練ホーム条例の一部改正について	○	○	○	×	○	可決	
	静岡市自転車等駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	可決	
	静岡市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	可決	
その他の議案	市道路線の変更について(吉川東区画8号線)	○	○	○	○	○	可決	
	市道路線の認定について(北三丁目1号線)	○	○	○	○	○	可決	
	当せん金付証票の発売について	○	○	○	○	○	可決	
人事	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	賛成	
	静岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について(4件)	○	○	○	○	○	同意	
議員提出議案	保育士の給与改善に関する意見書	×	×	×	○	○	否決	
請願	子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願署名	×	×	×	○	×	○	不採択
	国民健康保険料の引き下げを求める請願	×	×	×	○	×	○	不採択

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(25人)、志政会(10人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、共産党=日本共産党静岡市議会議員団(5人)、山と町=「山と町」安全の会(1人)、緑の党=緑の党グリーンズジャパン(1人)

# 次回定例会のお知らせ

2月定例会は、2月8日からはじまります。日程は次のとおりです。

会期41日間

開会日	会議名	場所
2月1日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
2日(金)	議案説明会(補正予算等)	議場
2月8日(木)	本会議 議会運営委員会	議場 第2委員会室
13日(火)	本会議	議場
14日(水)	厚生委員会	第1委員会室
	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
15日(木)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会 市民環境教育委員会	第2委員会室 第3委員会室
19日(月)	議案説明会(当初予算)	議場
21日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
	本会議	議場
27日(火)	議会運営委員会	第2委員会室
3月1日(木)	本会議(総括質問)	議場
2日(金)	本会議(総括質問)	議場
5日(月)	本会議(総括質問)	議場
6日(火)	本会議(総括質問)	議場
8日(木)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会 市民環境教育委員会	第2委員会室 第3委員会室
	総務委員会	第1委員会室
9日(金)	企業消防委員会 市民環境教育委員会	第2委員会室 第3委員会室
	厚生委員会	第1委員会室
12日(月)	観光文化経済委員会 都市建設委員会	第2委員会室 第3委員会室
	厚生委員会	第1委員会室
13日(火)	観光文化経済委員会 都市建設委員会	第2委員会室 第3委員会室
	議会運営委員会	第2委員会室
19日(月)	議会運営委員会	第2委員会室
20日(火)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)  
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。

## 今年度2回目となるインターンシップ研修生を受け入れました

静岡市では、学生の就業意識の向上及び市政に対する理解の促進を図ることにより開かれた市政を推進することを目的に、学生に対して市における就業体験の機会を提供しています。市議会でも平成29年11月20、21、22日の3日間、今年度2回目となるインターンシップ研修生1名を受け入れました。



左から 議長、インターンシップ研修生、副議長

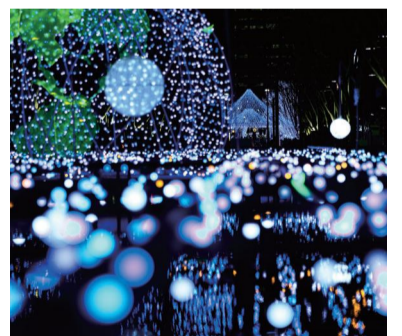
研修では、市議会だよりや議員向け情報紙の原稿作成、本会議時の記録写真撮影など様々な業務を体験してもらいました。

3日間の業務を終えたインターンシップ研修生からは「職場の雰囲気を感じることができ、また市議会についてもより身近に感じることができました」との感想が寄せられました。

## 表紙の写真

### 「シンボルロードの光」

毎年行われるこのイルミネーションはすっかり冬の風物詩に。この日も多くのカップルが訪れていた。二人の思い出の中でも、季節を紐解く光になるといいな、と思う。



撮影場所 青葉シンボルロード  
撮影日 平成29年11月27日  
撮影者 萩原 和幸氏(日本写真家協会会員)

次号「しずおか市議会だより(平成30年2月定例会号)」は平成30年6月1日発行予定です。

## 本会議中継のお知らせ



### インターネット

生中継(LIVE)・録画中継(VOD)をご覧ください。  
[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000269.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html)



### 地域FMラジオ

本会議(総括質問)のダイジェスト版を放送  
エフエムしみず(マリンパル)76.3MHz  
シティエフエム静岡(FM-Hi!)76.9MHz

市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

### 静岡市議会事務局

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
議会総務課 ☎221-1158  
議事課 ☎221-1159  
調査法制課 ☎221-1481  
(編集元) FAX 251-9213

静岡市議会ホームページアドレス

[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000260.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html)

静岡市議会

検索